

◆ 2021 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 環境サポート埼玉

24A-05

代表者：代表理事 鈴木 敏資

URL :

1. 活動が必要とされた状況

環境問題が子どもたちにとって自分たちの暮らしに直接結び付いた問題であり、日常的なごく普通の行動の結果であることを知ってもらうこと、また、地域の水辺に親しむ中で体験的に環境の大切さを学習すること、これらの機会を提供する必要性を感じ、計画した。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

新型コロナウイルス感染拡大が継続しているため 当初計画を中止し、助成頂いた物品等を活用して、計画現地での清掃活動を行うほか、水辺環境教室事業のパネル展示等を行い、次年度に備えた。



① 清掃活動

予定していた水辺環境教室の現地である高麗川・新戸口橋付近を当会会員の有志 6 名で清掃活動を実施した。（実施日 2021 年 9 月 28 日）

② 水辺環境教室事業のパネル展示

場所：当法人事務所玄関（ガラス張り。最寄り小学校の通学道路に面している。）

期間：2021 年 10 月 7 日～11 月 30 日

〈参考〉当初計画の「水辺環境教室」

《実施時期》2021 年 7 月 《参加人数》坂戸市内小学校児童 40 人程度及び保護者

《内容》1) 高麗川の水質調査（新戸口橋上流地域）

2) 高麗川（新戸口橋周辺地域橋上流 100m 以内）に棲む小魚や生物の調査

3) 新戸口橋周辺のごみ拾い

4) 体験学習の成果を夏休み自由研究としてまとめる。

3. 活動の成果

「埼玉県秋のプラごみゼロウィーク」の活動としても位置づけた清掃活動では、現地の堤防・道路、水辺では、ごみの散乱は比較的少なかった。また水辺際では良好な環境が維持されていることを確認した。パネル展示では、小学校の下校時に立ち止まり見ている児童もあり、水辺環境への関心をうかがわせている。

4. 今後に残された課題

- ① 事業を計画通りに実施できない場合の代替的なものを、引き続き検討する必要がある。
- ② こども目線の SDGs という視点からも本事業に検討を加え、より達成感、満足感、考える力が高まるよう工夫する。
- ③ 事業実施にあたり、協力団体との連携を引き続き高めること、幅を拡げること。